



議員報酬検討特別委員会

「どちらとも言えない」方の  
主な自由記載意見

①次期改選期から値上げすることは良いと思うが、なぜ一律2万円なのか。減額した時の額に戻すというのなら、一律ではないのではなか。その時、議長、副議長は3万円減となつていたのではないか。何故、議員報酬だけ値上げするのか。他の委員等もなり手不足ではないのか。

平成30年4月から増額する委員の意見



斎賀 弘孝

特別委員会は、値上げの時期について決められないのである。同意できる方60.1%の内53.5%が30年4月から良しとして解答するのでその方向でいいのではないか。このアンケートは、報酬引き上げに同意できるのか、できないのかで、結論が出て、その時期について30年4月からと結果がでてるからである。

自由記載意見の様々な事については、今後議長を中心とした全員協議会で対応していかねばならない。それは、議会を町民に理解してもらおうとした議長の責務である。

俺も選挙に出るかな。という記載もあった、改選時、選挙という形で、選ばれる議員が誕生すると思うし、町民は皆投票という形で候補を選挙できるという流れをつくる事ができた今回の議員報酬値上げと思う。



鷺見 悟

議員報酬を廻る議論は、7年前から議員定数の削減の中で行われていました。その時は議員定数の削減が大きな議論となり、わずか2ヶ月程度で議員主導の中で削減が決定されて来ました。議員報酬については「新しく選ばれた議員で決める」ことで合意され、幌延町議会の歴史的伝統となっていました。しかし今回は2年半以上の議論が行われ、「町民との懇親会」や様々な団体との協議を得て昨年12月議会で、条例として提案されました。町長からの意見もあり、更に一年程度の検討が必要との観点から、「議員報酬特別委員会」を設置して議論がなされて来ました。今まで行ったこともない「住民アンケート」を議員報酬に限って行なわれ、「60%の賛成」を賜りました。多くの議員もこれらの結果を受け、平成15年の議員報酬に戻すことで意見は一致しています。



吉原 哲男

全国的にも地方自治体の議員なり手不足が叫ばれ、十勝浦幌町議会では、2年以上の議論と、町民の意見を反映して、17万円から23万円に引き上げました。この中には若い人が議会に関心を持ち、参加をうながす意味も込められているといえます。全国的にも大きな波紋を呼び視察や問い合わせがあると言います。

議会論議の活発性と、議員の調査、提言活動を一層推し進め、町政の監視、批判が充分に行われなければなりません。多くの町村議員には政務活動費などはないことから、直接議員報酬の値上げにつながります。

なにか唐突な感じがあることも否めませんが、多くの町民の賛同を得て、ガラス貼りの議会と活発な議会をお約束して賛成意見いたします。



植村 敦

平成31年5月(次期改選期)から増額する委員の意見

平成19年度の統一選挙以来、無競争当選が続く町議会議員選挙の状況を何とか改善しなければと考え、2年に渡り議会内部で議論を重ねてきました。

特に議員の身分保障に関する報酬に議論が集中し、昨年末に議員報酬特別委員会を設置し、この度の町民皆様に対するアンケート調査を実施させて頂きました。

結果として、回答を頂いた半数以上の方々が、条件付きとは言え30年4月からの議員報酬引き上げに賛同を頂きました。

しかしながら私としては、31年5月から引き上げすべきとの回答と、引き上げ反対と回答された方々の沢山のご意見を無視することは出来ないと感じています。

町民皆様の心に寄り添う議会活動を目指す為には、もう一度初心に返り、現状の議会活動で出来る改革をお示し、新たに議員を目指す町民有志の為に平成31年5月報酬引き上げ改正を考えると。